



日本地質学会関東支部主催



共催 (予定) (独) 国立科学博物館

協賛 (予定) (社) 全国地質調査業協会連合会 関東地質調査業協会

5月10日は**地質の日**
「地質の日」関連イベント

地質技術伝承講習会：地質技師長が語る地質工学余話シリーズ

この数十年間、わが国の社会基盤施設(道路・鉄道・空港・都市施設・農業施設・ダム・地すべり施設など)は著しく整備されてきました。これら施設建設の建設にあたり、応用地質学もまた大きな役割を果たしてきました。今、これら応用地質学を支えてきた地質技術者から地質技術伝承の講習会を開催します。CPD: 2 単位(CPDH=1)

第5回 「海底探査(海底調査)の魅力-海洋地質学の基礎を学ぶ-

講師 安間 恵 (川崎地質株式会社 顧問)



海底探査観測
作業風景



島根大学地学科、東海大学大学院海洋研究科修了後、1972年 東海大学海洋学部勤務。1982年より川崎地質株式会社勤務。主に海洋調査に従事。海上保安庁海洋情報部(旧:水路部)の「沿岸の海の基本図」、国土地理院「沿岸海域土地条件図」、各地海峡トンネル調査、関西/伊勢湾空港・港湾調査、産業総合研究所(旧:の地質調査所)の海洋・湖沼調査、南極海調査等の地質構造探査、各種海域活断調査などに参画。近年は河川・汽水域等の環境調査にも従事。平成21年より川崎地質株式会社顧問。

これまで経験した海底探査を通じ、海底探査の記録成果の中に含まれる貴重な情報が如何に多いか、また地質学以外の海洋学(海洋物理・化学、生物学、土木学等)分野に関連する堆積環境の複雑さをお伝えしたい。さらに、海域の地質現象を捉えるには陸域地質の地表踏査の経験から演繹することが重要であったこと、その一方で、陸域地質では気付かなかったいろいろな地質現象を捉えることができたことが大きな経験となった。このような仕事が、研究機関ばかりでなく民間会社にもあることを若い人たちに知ってもらえればと思う。

記

●日 時 2009年5月10日(日) 午後2時から4時 **(地質の日開催です!)**

●会 場 国立科学博物館 日本館4階大会議室(展示室3階より係りがご案内いたします)

東京都台東区上野公園 7-20 (上野駅公園口から徒歩5分)

●参加費 無料。ただし博物館入館料(一般の場合 600円/1日)が必要(常設展示が閲覧可)。大学パートナーシップ会員、科博友の会会員、高校生以下は無料。1年に2回以上来館の場合、一般の方はリピーターズパス(1,000円/1年)がお得です(パスのご案内; <http://www.kahaku.go.jp/membership/index.html>)。

●懇親会 終了後、近くの食堂で講師を囲んでの懇親会を行ないます。懇親会参加費 4000円程度(予定)

募集人員: 50名 下記の申し込み先まで。定員になり次第締め切らせていただきます。

申込方法: ジオ・スクリーニングネット(GS ネット)にて公開される申し込み欄、若しくは、下記担当幹事のメールアドレスまたは日本地質学会事務局へ FAX にて。

申込先 : ジオ・スクリーニングネット(GS ネット) <http://www.web-gis.jp/~geo/index.php>
関東支部担当幹事 緒方信一(中央開発(株)) ogata@ckcnet.co.jp (兼、問合せ先)
日本地質学会事務局気付 関東支部 FAX: 03-5823-1156

第6回 2009年6月6日(土) 午前10時から12時 講師 大島 洋志氏 国立科学博物館新宿分館